袖ケ浦市立 中川小学校

SCHOOL DATA

〒299-0236 袖ケ浦市横田3899番1
TEL.0438-75-2015 FAX.0438-75-6717
■児童数／328人 ■教職員数／21人 ■周辺環境／水田、住宅地 （平成20年5月1日現在）

観察会

池の様子

ビオトープの概要

●場所／学校敷地外（河川敷）
　学校から徒歩7分
●面積／4,000㎡
　河川敷（千葉県占用許可済）
●設置者／学校
●設置した年／2006年
●直近の改修年／2007年
●主な管理者／中川ビオトープの会
（学校・保護者・地域により会を設置）

＜コンセプト＞

本校学区は、豊かな自然に恵まれた地域にもかかわらず、子どもも大人もその素晴らしさに気づいたり、触れあう機会が希薄な傾向にありました。そのため、地域の有志が中心となり、子どもたちや地域住民が中川の自然の素晴らしさや命の大切さを学ぶ窓口として、ビオトープの整備に取り組みました。本来は、学校敷地内が望ましいが、限られた敷地内では、整備は困難であったため、学校から近い河川敷内（堆積し、小川が流れている。）に関係者と協議を行い、保護者、地域、教職員が協力して整備を行いました。

今後も、子どもたちの環境学習はもちろん、地域の人たちとの交流が出来る場所として整備を進め、活動状況を地域にも発信して地域の輪を拡げた交流を図っていきます。

生息している生物

植物:オオマツヨイグサ、ヒメジョオン、ウラジロチチコグサ、セイタカアワダチソウ、ヨモギ、セイヨウタンポポ、スイバ、イタドリ、ギシギシ、クワクサ、ヒメドコロ、ヤマノイモ、ヌルデ、ヤブガラシ、ヤブマメ、クズ、ヨシ、ミゾソバ、ススキ、オギ、シロツメクサ、サルトリイバラ、オオバコ等
動物:ツバメ、アオジ、ウグイス、ホオジロ、キジバト、ヒバリ、ハクセキレイ、カワセミ、モズ、ツグミ、メジロ、カルガモ、マガモ、カワウ、ダイサギ、クサガメ、メダカ、ドジョウ、コイ、フナ、アゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、モンシロチョウ、カナブン、ゴマダラカミキリ、タマムシ、シオカラトンボ、カワトンボ、マツムシ、エンマコオロギ、カマキリ、ヒシバッタ、トノサマバッタ等

今後生息させたい生物

メダカ、ドジョウを増やしたい。
セリ、タネツケバナなど湿地の植物も生育させたい。
将来はホタルの生息が目標。

観察会

ビオトープの活用方法

○総合学習や生活科・理科などの授業で活用する。
　1・2年生／生活科・・・季節による中川の環境変化の観察
　3年生／総合・理科・・・中川に生息する昆虫の生態や四季の変化
　4年生／総合・理科・・・中川に生息する鳥類の生態や四季の変化
　5年生／総合・理科・・・田やその周辺水辺の生き物の観察
　6年生／総合・理科・・・蛍等の生態を通して中川の自然に気づく
○春夏秋冬にそれぞれ自然観察会を企画し、児童を含めて、広く地域に開放する。
○地域の皆さんの憩いの場としても活用してもらう。

ビオトープの効果

■児童への効果

生物と生息環境を観察することにより、自然の仕組みや湿地の環境などについて理解を深め、環境保全についての意識を高める。また、日常的に生物に触れ合うことにより、命の大切さを理解し、心優しい子が育つ。

■教職員への効果

理科、総合学習の教材として、効果的に活用することができる。児童との意思疎通が図れるようになった。

■保護者、地域住民への効果

観察会などを保護者や地域住民を招き、自然環境に触れ合うことにより、自分たちが住んでいる地域の自然の素晴らしさを再認識してもらえると共に学校への理解も促進できる。

保護者、地域との連携

保護者、地域住民

保護者、地域住民、教職員で構成されている「中川ビオトープの会」による月2回の定例維持管理等の活動をビオトープ通信にて地域へ発信して更に会員を募り連携を図っていきたい。

整備・活用・管理等の課題

整備:「中川ビオトープの会」を主軸に毎月2回の定例維持管理による整備を進める。整備内容については、毎回協議を行っている。
活用:児童の環境学習や地域住民の憩いの場として活用する。
管理等の課題:河川敷なので、大雨時には浸水するので、その対策が必要。

今後の展望

河川敷地内を流れている小川は近隣の市街地からの雑排水が合流しているため、本流から小魚等も遊泳しているが、ゴミ等が流れてくるため、将来「ホタルの生息」を計画しているが、現在の状況では、困難と思われる。今後は、2箇所あるトンボ池への入水を井戸水により検討したい。

整備を担当した教員等の感想

児童

○シロツメクサで飾りを作った時、自然があるから作れるんだと思った。（1年生）
○中川には、色々な生き物・植物がいていいなぁと思った。
○ビオトープを見た時「きれいだな」と思った。自然を守ったらこんなにきれいになるんだと思った。（2年生）
○近くの川にゴミがたくさん捨ててあった。ゴミを捨てたり自然を壊したりするのはやめて欲しいと思った。（3年生）
○ビオトープで鳥や虫たちが楽しそうに遊んでいたのを見て中川っていいなぁと思った。（4年生）
○学校の近くにビオトープやたくさんの自然があり中川って本当にいいなぁと思いました。（5年生）
○ホタルが少なくなってきているので、中川の自然を大切にしてもっとホタルを増やしたい。（6年生）
○中川の地域の人たちは、色々なことを大切にしている。（生き物や子ども・自然）中川っていいなぁと思いました。（6年生）

地域住民

活動で子ども達や植物、生物と触れ合うことによって、学校が身近に感じている。また、元気でやさしい子どもが育つように思います。私たちも自然環境の大切さを学び、雑草等の処理や、街をきれいにする運動に発展していければと考えています。

教員

保護者だけでなく、地域の人たちと子ども達が触れ合うことによって、地域の人たちが積極的に学校行事に参加してくれるようになった。また、子どもたちの安全対策にも積極的に見守ってくれるようになり、素晴らしい活動だと思います。